

# F 研究企画・調整・情報システム・出版・広報

## 1. 研究の企画・調整・評価

### (1) 道立農業試験場長会議

#### 1) 第1回場長会議

期日：平成21年5月21日(木) 10:00～12:00

場所：農政部大会議室

議題：

##### ①協議事項

- ・道立農業試験場の地方独立行政法人化について(中期計画策定に係る重点研究課題の見直し、独法後の花野菜技術センターにおける研修事業の対応)
- ・「平成22年度新規課題設定の考え方」について
- ・平成22年度新規予定課題の調整について
- ・平成22年度超高額備品の整備計画について

##### ②報告事項

- ・平成22年度試験研究費(道費)に係る予算編成の考え方について
- ・北海道立農試研究成果刊行物について
- ・外部資金(競争的資金)への応募と採択状況について
- ・平成21年度農試新人研修の実施について
- ・平成21年度研究職員研修事業に係る派遣者の決定について
- ・平成21年度の主な日程について
- ・平成21年度普及指導員研修について

#### 2) 臨時場長会議

期日：平成21年6月16日(火)13:30～17:30

場所：農政部大会議室

議題：

##### ①協議事項

- ・平成21年度第1回試験研究機関改革推進会議の資料に対する農政部意見について(英語表記、業務方法書等)
- ・中期計画策定に係る新重点研究課題について
- ・試験研究機関改革推進室案に対する農政部意見(案)について(法人の組織機構等、その他提案事項)
- ・中国黒龍江省との研究交流の状況について

##### ②報告事項

- ・滝川試験地について

#### 3) 第2回場長会議

期日：平成21年8月3日(月)13:30～17:00

場所：農政部大会議室

議題：

##### ①協議事項

- ・平成22年度新規研究課題予算要求に係る調整について
- ・道立農業試験場の地方独立行政法人化について(中期計画に係る重点研究課題の見直し、最近の検討状況)
- ・平成21及び22年度の備品整備計画について(平成21年度補正予算による備品整備計画、平成22年度超高額備品の整備計画)

##### ②報告事項

- ・大豆発芽不良に係る対応について
- ・畜産試験場滝川試験地について

#### 4) 第3回場長会議

期日：平成21年10月13日(火)13:30～15:00

場所：農政部大会議室

議題：

##### ①協議事項

- ・平成22年度新規研究課題予算要求に係る調整について
- ・平成22年度の農業試験場の人事異動の取り扱いについて

##### ②報告事項

- ・道立農業試験場の地方独立行政法人化に係る経過報告
- ・2009 アグリビジネス創出フェア in Hokkaido について
- ・平成21年度農試新人研修の中止について
- ・平成21年度下期の主な予定について
- ・平成22年度試験研究用備品の予算要求について
- ・滝川試験地の整理の状況について

#### 5) 臨時場長会議

期日：平成21年11月19日(木)13:30～15:30

場所：農政部大会議室

議題：

##### ①協議事項

- ・道立農業試験場の地方独立行政法人化について(農業研究本部における「研究マネジメント」のあり方)

##### ②報告事項

- ・農業試験場のリスク管理について
- ・滝川試験地の整理状況について

## 6) 第4回場長会議

期日：平成21年12月11日(金)13:30～17:00

場所：北農健保会館中会議室

議題：

### ①協議事項

- ・農業試験場の地方独立行政法人化について

### ②報告事項

- ・平成 21 年度研究課題評価の結果について
- ・平成 21 年度北海道農業試験会議(成績会議)の開催日程等について
- ・根釧農業試験場における騒音対策の取り組みについて(情報提供)
- ・平成 22 年度農業(畜産)試験場に係る施設整備事業予算要求及び平成 21 年度補正予算に係る試験研究用備品整備費執行状況について

## 7) 第5回場長会議

期日：平成22年3月19日(金)13:00～15:15

場所：北農健保会館中会議室

議題：

### ①協議事項

- ・農業試験場の地方独立行政法人化について
- ・種苗・遺伝資源の配布・提供要領の見直しについて
- ・農業試験場の地方独立行政法人化について
- ・平成 22 年度の新規実施課題について
- ・新法人発足に伴う規程等(農業試験場研究部・技術普及部所管)の改廃について

### ②報告事項

- ・第 23 回植物遺伝資源連絡委員会における協議及び今後の対応について
- ・競争的資金への応募・採択状況等について
- ・地域農業技術センター連絡会議の活動状況について
- ・平成 22 年度の主な日程について
- ・農業試験場売り払い収入の取扱について

## (2) 研究調整会議

### 1) 第1回研究調整会議

期日：平成21年4月27日(月)13:30～16:00

場所：中央農試 大会議室

#### ①協議事項

- ・「平成 22 年度新規課題設定の考え方」について
- ・平成 21 年度北海道農業試験会議(研究課題検討会議)の開催について

- ・平成 22 年度試験研究費(道費)に係る予算編成の考え方について

- ・平成 21 年度の各種プロジェクト運営計画等について

#### ②報告事項

- ・平成 21 年度北海道農業試験会議の各部会主査の指定及び副主査の指名について
- ・平成 22 年度新規予定課題の調整に係るスケジュールについて
- ・平成 21 年度研究課題評価調書の作成について
- ・競争的資金への応募について
- ・「道立農試における種苗生産管理の手引き」における作物別手引きの作成について
- ・育成系統種子等の外部への配布について
- ・北海道農業試験会議における普及センターに所属する職員の出席について

### 2) 第2回研究調整会議

期日：平成21年6月30日(火)10:30～12:00

場所：中央農試 大会議室

#### ①協議事項

- ・中期計画策定に係る重点研究課題の見直しについて

#### ②報告事項

- ・外部資金(競争的資金)への応募及び採択状況について
- ・農業関係試験研究要望課題調査(研究ニーズ調査)の課題化について

### 3) 第3回研究調整会議

期日：平成21年10月20日(火)13:30～15:00

場所：中央農試 大会議室

#### ①協議事項

- ・北海道農業試験会議(成績会議)の開催日程等について

#### ②報告事項

- ・平成 21 年度における技術的課題の提案及び「農業新技術 2010」の選定等について
- ・平成 21 年度競争的資金への応募・採択状況について
- ・2009 アグリビジネス創出フェア in Hokkaido について
- ・メロン、花ユリ育成品種の種苗に係る問題への対応について
- ・平成 21 年度下期の主要な予定について
- ・北大・道立農試連携協定に係る研究者の技術交流会議について
- ・「安孫子賞」及び「北農賞」の推薦状況について

- ・道農産物機能性発揮推進事業について

#### 4) 第4回研究調整会議

期日：平成21年12月17日(木)13:30～16:00

場所：中央農試 大会議室

##### ①協議事項

- ・平成 21 年度北海道農業試験会議（設計会議）の開催について

- ・北海道地域農業研究推進会議「研究成果情報」への対応について

- ・農業試験場の地方独立行政法人化について

- ・情報ネットワークについて

##### ②報告事項

- ・奨励品種決定現地調査等の見直しについて

- ・平成 21 年度研究課題評価の結果について

- ・平成 21 年度北海道農業試験会議(成績会議)の運営等について

- ・平成 22 年農業新技術発表会の開催及び「普及奨励ならびに指導参考事項」の取扱いについて

- ・競争的資金への応募状況、応募に係る留意事項と外部資金（独法受託等）の契約開始日の動向について

- ・刊行物諸規定の見直しについて

#### 5) 第5回研究調整会議

期日：平成22年2月19日(金)10:30～17:00

場所：中央農試 大会議室

##### ①協議事項

- ・農業試験場の地方独立行政法人化について（研究マネジメントシステム、道立農試研究基本計画重点研究課題の見直し、中期計画で「数値目標を設定する項目の考え方、新法人発足に伴う規定などの改廃）

- ・平成 22 年度新規試験研究課題（経常研究）の予算要求に係る調整について

- ・各種プロジェクトの運営状況及び次年度の運営計画について

- ・課題検討会を経なかった次年度新規課題（受託研究課題等）の検討について

- ・平成 21 年度北海道農業試験会議（成績会議）の反省と次年度の対応について

- ・種苗・遺伝資源の配布・提供要領の見直しについて

- ・第 23 回植物遺伝資源連絡委員会における協議及び今後の対応について

##### ②報告事項

- ・奨励品種決定現地調査等の見直しについて

- ・競争的資金への応募・採択状況等について

- ・平成 21 年度北海道農業試験会議(設計会議)に向けて

- ・地域技術支援会議の活動経過について

- ・農業新技術発表会の開催結果について

### (3) 北海道農業試験会議

#### 1) 研究課題検討会議

○平成 22 年度新規課題設定の考え方

##### 1. 課題設定にあたっての基本方針

本道の農業・農村は、農家戸数の減少や農業従事者の高齢化をはじめ、「食」の安全・安心や環境問題、生産資材の高騰や国際的穀物需給の不安定化への対応など、多くの課題に直面している。また、WTO 農業交渉や EPA/FTA をはじめとする農業の国際化が進展するとともに、水田・畑作経営所得安定対策の導入に加え、国においては新たな基本計画の策定に向けた検討が進められるなど、大きな転換期を迎えている。

さらに、平成 22 年 4 月を目処に試験研究機関の地方独立行政法人化が進められている中で、新規の試験研究課題の設定に当たっては、「北海道農業・農村ビジョン 21」や「北海道食の安全・安心条例」、「道立農業試験場研究基本計画」などに即し、農業生産者、関係機関・団体、消費者などからの研究要望を重視するとともに、産学官の連携も図りながら、次の事項を基本方針とする。

- (1) 豊かな食生活を支える農業を推進するため、競争力が高く、安全で良質な農畜産物を低コストで安定的に供給する技術や品種の開発を推進する。
- (2) 環境と調和した持続的な農業を支援するための技術開発を推進する。
- (3) 地域の研究ニーズに対応した農業・農村の振興や地域の産業を支援する技術開発を推進する。
- (4) 道の重要施策等に関わる分野横断型戦略的研究を推進する一方、効率的な試験研究を推進するため、選択と集中の視点を踏まえて継続課題の見直しや新規課題の設定を行う。

##### 2. 新規課題の重点項目

- (1) 競争力やブランド力強化に向けた農畜産物の高品質・高付加価値化や低コスト安定生産に係る技術の開発
- (2) 環境と調和した生産活動を推進するクリーン農業技術の高度化とバイオマス資源活用技術の開発
- (3) 農畜産物の安定供給を支える土地基盤を活用した生産技術と資材価格高騰に対応した省資源生産技

術の開発

(4) 先端技術活用による実用新技術の開発

部会の開催日程及び検討課題数

部 会	日 程	会 場	課題数
総 合	H21.6.3	道庁赤レンガ	2( 0) <sup>*</sup>
作物開発	H21.6.1～2	道庁赤レンガ	22(12)
花・野菜	H21.6.4～5	第二水産ビル	8( 4)
畜 産	H21.6.1～2	プレスト1・7	17(11)
農業環境	H21.6.1～2	道庁赤レンガ	17( 8)
ｸﾘｰﾝ農業	H21.6.4～5	第二水産ビル	14( 6)
生産ｼｽﾃﾑ	H21.6.4～5	プレスト1・7	9( 9)
農産工学	H21.6.4	第二水産ビル	6( 3)

※括弧内の数値は、検討課題数の内、新規課題数である。

2) 成績会議

各部会に提出され検討した課題について、総括会議で新農業技術として判定された結果は次のとおりであった。

		普及 奨励	普及 推進	指導 参考	研究 参考	行政 参考	保留 成績	完了 成績	合計
作物 開発	計 (品種)	5 (5)	2 (2)	21	1	0	0	0	29 (7)
花・ 野菜	計 (品種)	0	0	13	0	0	0	0	13 (0)
畜産	計 (品種)	5 (5)	1	13	4	0	0	0	23 (5)
農業 環境	計 (品種)	0	0	11	1	0	0	0	12 (0)
ｸﾘｰﾝ 農業	計 (品種)	0	1	113	3	0	0	0	117 (0)
生産 ｼｽﾃﾑ	計 (品種)	0	2	68	3	1	0	0	74 (0)
農産 工学	計 (品種)	0	1	3	7	0	0	0	11 (0)
総合	計 (品種)	0	1	2	0	0	0	0	3 (0)
計	計 (品種)	10 (10)	8 (2)	244 (0)	19 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	282 (12)

3) 設計会議

北海道における農業関係試験研究機関が行う試験研究課題について、平成 22 年度の設計を決定するための専門部会を平成 22 年 3 月 1 日～3 月 5 日にわたり開催した(てん菜分科会は 2 月 22 日)。各部会に提出された検討課題数は、次のとおりであった。

部会	分科会	課題数
作物開発	稲	49
	豆類	74
	てんさい	34
	麦類・特用作物	93
	ばれいしょ・果樹	90
花・野菜		91
畜 産	畜産総合	22
	飼養・管理・家畜育種	37
	家畜衛生・繁殖	34
	草地(品種・栽培)	58
農業環境		150
ｸﾘｰﾝ農業		107
生産ｼｽﾃﾑ		90
農産工学		46
合 計		975

(4) 地域農業技術センター連絡会議

1) 平成21年度地域農業技術センター連絡会議定期総会

- ・日 時：平成 21 年 2 月 19 日 13:00～13:50
- ・場 所：かでの 2・7 1050 会議室
- ・出席者：39 名
- ・議 事：平成 20 年度事業実績及び収支予算  
平成 21 年度事業計画及び収支予算(案)  
役員改選  
報告事項(ブロック会議)

2) 平成21年度地域農業技術センター連絡会議研究交流会

- ・日 時：平成 21 年 2 月 19 日 13:50～16:40
- ・場 所：かでの 2・7 1050 会議室
- ・出席者：60 名
- ・内 容
- ・話題提供  
〈生産資材価格の高騰への対応方向について〉  
燃油・肥料高騰緊急対策について  
道農政部食の安全推進局食品政策課

主幹 関 保男 氏

肥料高騰の背景と農業生産への影響予測について

ホクレン農業協同組合連合会肥料農薬部

肥料原料課長 小川 雅勇 氏

肥料高騰への技術的対応策

中央農業試験場技術普及部

主 査 乙部 裕一 氏

〈地域農業技術センターと道立農試の連携した取組事例〉

### にんじんの品種特性Ⅲ

花・野菜技術センター研究部

研究職員 平井 剛 氏

### 露地直播栽培えだまめの品種特性

十勝農業試験場作物研究部

主任研究員 田中 義則 氏

### 雪中貯蔵キャベツの結球内部黒変症状対策と雪中貯蔵中の品質変化

上川農業試験場研究部

研究職員 木村 文彦 氏

### 光センサーによるメロン品質（糖度・果肉硬さ・内部障害）の測定技術

北海道原子力環境センター

農業研究科長 奥村 理 氏

### 〈道立試験研究機関の地方独立行政法人化について〉北海道立中央農業試験場

企画情報室長 品田 裕二 氏

### 〈平成21年度花・野菜技術センター研修生の募集〉

北海道立花・野菜技術センター技術普及部

主査（研修）井上 昇 氏

### 3) 平成21年度地域農業技術センター研究情報交流会

・日 時：平成21年9月1日～9月5日

・場 所：帯広市・とかちプラザ会議室ほか

・出席者：50名

・内 容

#### 〈地域農業技術センターの活動報告等〉

芽室町農業協同組合農業振興センター

センター長 西谷 洋人 氏

幕別町農業試験圃場（幕別町経済部農林課）

鈴木 克則 氏

士幌町農業試験センター（JA士幌町農産部農産課）

牧野 達也 氏

帯広市農業技術センター（帯広市農政部農政課）

農産係長 向山 裕賢 氏

#### 〈話題提供〉

「消費者と生産者が強い絆で結ばれた「食」づくり」（株）

山本忠信商店

専務取締役 山本マサヒロ 氏

「資材高騰対策重点プロジェクトの取組み」

帯広市川西農業協同組合営農振興部

営農相談係長 吉田 速男 氏

「十勝農業試験場技術体系化チームの取組み」

北海道立十勝農業試験場技術普及部

次長 高宮 泰宏 氏

「農業関係試験研究要望調査について」

北海道農政部食の安全推進局技術普及課

主査（研究企画）佐藤 尚親 氏

〈現地視察〉

JA中札内村における枝豆ブランド化の取組

帯広市農業技術センターの見学

### 4) 平成21年度地域農業技術センター連絡会議活動

（花き部会・20年度現地研修会）

・日 時：平成21年9月7日～8日

・場 所：札幌市、江別市

・出席者：31名

・内 容

〈現地視察〉

北海道農業研究センター視察

札幌市農業支援センター視察

ホクレン農業総合研究所視察

江別市内花き生産農家視察及び情報交換

## 2. 情報システムの活用

### (1) 北海道農業情報ネットワークシステム(Hao)の管理・運営

#### 1) 利用状況

平成22年1月末時点でのHao登録ユーザ数は、個人523、業務921、合計1,444となっている。

#### 2) 電子メールの利用

平均月間利用数は、23万7千通で、前年度と比べて6%増加した。

#### 3) ホームページの作成

Haoは、北海道農政部、農業試験場、農業改良普及センター、家畜保健衛生所、農業大学校などのページから構成され、総掲載数は約6万ページ以上となっている。

ホームページ全体への月平均のアクセス数は約500万件である。その中には、検索サイトからのクロールが多く含まれ、一般からのアクセスはそれをのぞいた半数程度と推定される。

#### 4) 問い合わせへの対応

Q&Aボードを迷惑書き込み対応のため休止していることから、電子メールによる質問等15件に対応した。

#### 5) 独立行政法人化に伴うシステムの分離

22年4月の独立行政法人化に向け、1月にHaoシス

テムのうち、農試部分を切り離して新たに構築した法人情報システムに組み込む対応を行った。これにより Hao 本体は道農政部で維持管理を行うこととなり、農試関係者は Hao ネットワークから離脱し、法人情報システムネットワーク内でメールアカウント等新たに提供されるサービスを利用して業務を行うこととなった。

## (2) 営農指導支援システムの整備開発

本年は、「イネドロオイムシモニタリング適期判定」を開発した。

## (3) 中央農試ホームページの作成・更新について

入札情報や公開データ情報など、広く道民に対して場の業務等の情報公開や研究成果の情報発信を行った。また、独立行政法人化に対応すべく、ページ更新の準備を行った。

## 3. 図書・資料

### (1) 受入状況

(冊)

資料名	購入	寄贈	合計
単行本(国内)	-	15	15
単行本(外国)	-	-	-
逐次刊行物(国内)	312	179	491
逐次刊行物(外国)	234	25	259

CD-ROM等電子媒体含む

## 4. 印刷刊行物

資料名	発行年月	頁数	部数
北海道農業試験会議議事概要 設計会議 平成21年度	21.5	150	230
北海道立農業試験場集報 第93号	21.5	80	420
北海道立中央農業試験場年報 平成20年度	21.6	133	160
北海道立中央農業試験場事業実施計画書 平成21年度	21.8	62	170
北海道立農業試験場新規課題実施計画書 平成21年度	21.9	175	300
北海道立農業試験場資料 第38号	21.9	106	480
北海道立農業試験場集報 第94号	21.10	125	420
平成22年農業新技術発表会要旨(第28回)	22.2	39	600
平成22年道央圏農業新技術発表会要旨	22.2	24	400
北海道農業試験会議議事概要 成績会議 平成21年度	22.3	74	230
平成18年度植物遺伝資源開発研究成績書	22.3	108	250
平成19年度植物遺伝資源開発研究成績書	22.3	102	250

## 5. 広報活動

### (1) 平成21年度中央農試公開デー

・テーマ「ようこそ、食と農の実験室へ」

### (2) 資料提供

(件)

室外貸出
290

### (3) 図書資料購入費

(千円)

単行本	国内逐次刊行物	外国逐次刊行物	製本	消耗品	計
-	910	4,315	200	74	5,499

ただし、各部で別途購入分は除く。

・日時：平成20年8月7日 9:30～15:00

・場所：中央農試庁舎、ほ場、果樹園

・主催：中央農試

・後援：岩見沢市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山

町、JA いわみざわ、JA なんぼろ、JA そらち南、JA

ながぬま

・協力：空知農業改良普及センター、農政部食の安全推進局食品政策課

・来場者：888名（うち農業者57名）

・内容：

夏休み☆おもしろ公開実験室、土で絵を描こうコーナー、試食コーナー（「ななつぼし」「大地の星」のご飯＋農試産雑穀入りスープカレー等）、スタンプラリー（農試産「新ジャガイモ」のプレゼント、食育体験（箸の使い方）、遺伝資源体験コーナー、畑、果樹園バス見学、なんでも相談（土壌・病害虫の診断等）、地元農産物・加工品の展示即売等

## (2) 平成22年 道央圏農業新技術発表会

・日時：平成21年2月24日13:00～16:00

・場所：栗山町 くりやまカルチャーセンター EKI・

主催：中央農試、花・野菜技術センター

・後援：栗山町、JAそらち南、空知支庁

・出席者：262名（うち農業者57名）

・発表課題：

道央・道南に適した、多収で病害に強いあずき「十育155号」

中央農業試験場作物研究部

畑作科長 藤田 正平

果樹の品種特性と栽培法

(1) 北海道に向く新しいブルーーン

(2) 北海道に向く新しいブルーベリー

(3) 食味の良い西洋なし「オーロラ」を安定して作るために

中央農業試験場作物研究部果樹科

研究職員 井上 哲也

農業生産法人向け診断ツール「農試式経営診断」

中央農業試験場生産研究部経営科

研究職員 濱村 寿史

どう上げる、稲作所得？～集落単位で技術と経営管理を総点検！～

中央農業試験場生産研究部経営科

研究職員 平石 学

安心で安定した水稻種子消毒！～化学農薬を使わない種もみの消毒法～

中央農業試験場生産環境部

予察科長 美濃 健一

環境に配慮した施肥指針の改訂版「北海道施肥ガイド2010」

中央農業試験場

生産環境部副部長 日笠裕治

肥効調節型肥料を用いた野菜の効率的施肥法

中央農業試験場栽培生産環境部

環境科長 小野寺 政行

たまねぎ有機栽培で使える育苗培土

花・野菜技術センター研究部

野菜科長 福川英司

シネンシス系スターチスの秋の切り花品質向上と越冬株の上手な管理法

花・野菜技術センター研究部花き科

研究職員 海保ひとみ

「地域に合った春まき小麦初冬まき栽培技術の普及」

空知農業改良普及センター

主査（畑作） 小林直樹

## (3) サイエンスパーク2009

・日時：平成21年8月3日10:00～17:00

・場所：サッポロファクトリー

・主催：独立行政法人科学技術振興機構、北海道

・参加機関：中央農業試験場、上川農業試験場、畜産試験場、花・野菜技術センター、原子力環境センター、サッポロビール株式会社、北海道ガス株式会社、北海道電力株式会社ほか

・後援：札幌市、札幌市教育委員会

・参加者：5,300名

・展示コーナー

[中央農業試験場]

試験研究に関するパネル・サンプル展示（小果樹、水稻、畑作物、挿し木苗、果実など）

[畜産試験場]

牛、羊、鶏等のペーパークラフトの展示・体験

・体験コーナー

[上川農業試験場]

新品種「ゆめぴりか」と昔の米との食べ比べ、お摺り・精米体験

[花・野菜技術センター]

顕微鏡を使った、野菜の虫や病気の観察

## (4) アグリビジネス創出フェア in Hokkaido

・日時：平成21年12月4日10:00～12月5日18:00

・場所：サッポロファクトリーホール他

・主催：NPO法人グリーンテクノバンク

・共催：北海道農業研究センター、生物系特定産業技術研究センター、農林水産技術会議事務局

・後援：北海道開発局、北海道、北海道大学、帯広畜産大学、酪農学園大学、東京農業大学、東海大学、藤女子大学、産業技術研究所北海道センター、中小企業基盤整備機構北海道支部、北海道経済連合会、ホクレン、北洋銀行他

・参加者：2,000名

・出展内容

**【アトリウム会場】**

北海道立農業試験場の紹介

[中央農業試験場] 道立農試で開発した道産酒造好適米を使用した清酒の試飲（協力：北海道酒造組合）

[上川農業試験場] 極良食味米「ゆめぴりか」の開発試食用サンプルの配布（協力：北海道米販売拡大委員会）  
花・野菜技術センター 技術研修の紹介  
研修生が栽培した鉢花の配布

**【ホール会場】**

[畜産試験場] 発育が優れた高品質肉鶏「北海地鶏Ⅱ」の試食（焼き鳥）

[上川農業試験場] 寒さに強い！白度が高く！良食味もち米「きたゆきもち」の試食（おこわ）～

[十勝農業試験場] 風味の優れる大納言小豆「ほまれ大納言」の試食（和菓子）

[北見農業試験場] 小麦「きたほなみ」・「はるきり」、馬鈴しょ「さやあかね」・「スノーマーチ」・「ゆきつぶら」・「オホーツクチップ」・「ナツブキ」、たまねぎ「早次郎」・「収多郎」「えぞまる」の紹介

[中央農業試験場] とにかく粒の大きい大豆「タマフクラ」で作った枝豆の試食（協力：JA 中札内）  
遺伝資源データベースの実演、遺伝資源サンプルの展示